

平成28年度 第1回 大阪府立佐野工科高等学校 定時制の課程 学校協議会

日 時 平成28年7月4日(月) 午後6時30分～午後8時

場 所 佐野工科高校 佐工会館1階

出席者 委員:松崎 保弘 田脇 光浩 東 壽美雄 熊取谷 要 本橋 正雄
(敬称略)

事務局:山田 啓次 山口 昌志 石倉 千睦 吉岡 明海 小寺 翔太 藤 俊幸

- 次 第
- (1) 准校長挨拶
 - (2) 学校協議会委員および事務局の紹介
 - (3) 平成28年度 状況
 - ① 各分掌より(進路・教務・生指)
 - (4) 平成28年度 学校経営計画
 - (5) その他
 - (6) 協議
 - ① 平成28年度 学校経営計画について
 - ② 教科書選定について
 - ③ 佐野工科高校の課題

協議内容について

今年度、准校長、教頭、委員1名、事務局が変わったため、学校協議会委員および事務局の紹介を丁寧に行った。また、准校長が変わったことにより、学校経営計画の一部が変更され、その理由等が説明された。協議の内容は、学校経営計画について、各委員より前回との違いや、新しく付け加えた地域連携などの説明を求められ、准校長が対応した。また、次年度の教科書選定作業についても、教務部から説明をしたが、選定作業の公平さは理解ができるが、教科書の内容が適切かどうかということは、協議できないのではないかという意見をいただいた。4月当初からの課題である近隣住民からの苦情については、近くのコンビニエンスストアに掲示してあった「佐野工科定時制の生徒の入店お断り」の張り紙を、准校長から店長に生徒の指導方法などの説明により、外していただくことができたという事例報告で、引き続き生徒の指導をお願いしたいとの要望もあった。

日 時 平成28年11月4日(金) 午後6時～午後8時

場 所 佐野工科高校 佐工会館1階

出席者 委員:松崎 保弘 田脇 光浩 鎌野 博 東 壽美雄 熊取谷 要 本橋 正雄
(敬称略)

事務局:山田 啓次 山口 昌志 藤元 雄一郎 山本 康子 小寺 翔太
藤 俊幸

次 第

- (1) 授業見学(ICT を活用したものづくり)
- (2) 准校長挨拶
- (3) 進捗状況
 - ① 進路指導部より
 - ② 生活指導部より
 - ③ 教務部より
- (4) その他
- (5) 協議
 - ① 学校経営計画進捗状況について
 - ② その他

協議の内容につて

○学校経営計画進捗状況について

生徒指導部からの進捗状況の説明で、年度途中から生徒指導内規の変更をした点について、学校の現状の確認行われ、生徒にとって有益な内規変更(家庭謹慎ではなく、学校謹慎にする)は、年度途中でも良いのではないかと、また学校に来させることで、教科指導ができ、留年対策になるのであればさらに良い。先生方には大変なご苦勞になるかもしれないが、引き続き指導をお願いします。ということであった。

ICT を活用した実習授業見学については、人数も少なくほぼ個別対応なので、生徒の気持ちも解きほぐれているのか、非常に楽しそうであった。引き続き指導をお願いしたい。

進路指導部の報告で、学校斡旋でなく、引続き在学中の職場に採用される生徒について雇用条件等を確認しない生徒がいる現状について、非常に危険で、生徒自身に不利益になっていないのか？ハローワークを介さないにしても、会社としては雇用契約書を作っているところもある。生徒だけでなく、学校からそのような会社に情報を伝えるなど指導してはいかがなものだろうか。という意見をいただいた。

最後に、准校長から、一部の生徒または全く関係のない若者が夜に煙草を吸いながら溜まっていたり、屯したりしているので、近隣住民からは、本校の生徒が疑われ、よく思われていない現状を改善するために、出前授業でのICT教育の推進も一つとして考えている。また、来年度以降、英語教育にも力を入れてゆき、本校が、地域から必要とされる学校に変えてゆこうと考えている。引き続き、学校協議会の場で、委員のご意見をお願いしたい、ということで協議会を終わった。

日 時 平成29年2月23日(木) 午後6時～午後8時

場 所 佐野工科高校 佐工会館1階

出席者 委員:松崎 保弘 田脇 光浩 鎌野 博 東 壽美雄 熊取谷 要 本橋 正雄
(敬称略)

事務局:山田 啓次 山口 昌志 藤元 雄一郎 伊藤 慎祐 藤原 瑞穂 山本 康子
小寺 翔太 藤 俊幸

次 第

(1)准校長挨拶

(2)本校現状について

①H28 進路状況

②学校自己診断結果

③H28 年度学校評価 及び H29 年度学校経営計画

(3)協議

① 学校教育自己診断アンケート 集計結果

② 平成 28 年度学校評価

③ 平成 29 年度学校経営計画案

④ 意見交換

⑤ その他

協議の内容について

○ 本校の現状について、

進路指導部、生徒指導部、教務部から進路状況や進級・卒業状況および生徒指導状況の説明の後、学校自己診断の診断結果について、説明をした。その後、准校長より学校評価及び平成 29 年度学校経営計画の報告及び説明を行い、協議へと移った。

○ 協議について

・ 本校の現状についての委員からの質問

Q. 女生徒の進路未決定者について、詳しく教えてほしい。

A. 家庭の事情(子供が小さいなど)で、正社員で時間を拘束されるよりパートタイムで働く方が、時間に余裕があるため、現時点では未決定者として扱っている者が数名います。

Q. 発明くふう展について、詳しく教えてほしい。

A. 大阪発明くふう展に、定時制からも出品しました。本年度は 211 名の出品があり、特別賞 11 点、奨励賞 5 点、入選 6 点、団体賞 3 団体で、全日製の産業創造系からの作品が、大阪市教育委員会賞を、定時制からの作品が、入選となりました。また、佐野工科高等学校として団体賞もいただきました。定時制としても、受賞生徒だけでなく、周りの生徒も関心を示すなど、かなり有意義なものとなり、来年度へつなげたい。

Q. インターンシップについて教えてほしい。

A. 定時制では、ほとんど生徒が、正社員やアルバイトで何らかの仕事に就いているため、インターンシップ

というものが、そぐわないので本校独自の方法を模索している。来年度何とか形にできないかと考えている案として、企業とのタイアップにより、アルバイトもできない生徒を最低賃金で就業体験できる企業の誘致について、いろいろな企業に話をしているが、かなりハードルの高いものとなっている。

・ 委員からの提言および要望

進学に関して、学費の関係で進学をあきらめたという生徒がいたようだが、可能な限り奨学金について早くから説明をし、そのようなことが起こらないように注意していただきたい。

学校教育診断では、生徒へのアンケートを中心に見たとき、「校長先生の話は興味深くわかりやすい。」の結果が悪いが、この部分に関していろいろな工夫をして改善することができるのではないか。また、「学校のホームページをよく見る。」も評価が低い、ホームページを度々見る生徒が多いというのが良いとは思えないので、この状況でもよいのではないかと。ただ、外部への情報発信機能としては、更新頻度を上げることは常套手段ではないだろうか。

保護者アンケートでは、授業参観や学校行事に参加した保護者の結果が悪いということについて、保護者が行きやすい学校というのは、大切なことだと思うが、これが学校の評価としての判断基準になるのかという事は、大阪府として考えなければならないのではないかと。

生徒のアンケートでは、先生方が生徒に対して行っていることに対して評価が高い、また、保護者に関しても同じであることから、学校をサービス業とすれば非常に手厚いサービスをしていることが分かるのではないかと。

学校協議会としては、先生方の診断結果に関しては、厳しい評価が出てきているが、生徒や保護者からは非常に良い評価が出ている、悪い評価が出ているものに関しては、評価の目的や基準があいまいな気がする。よって、全体としては問題なく、むしろ良いと判断できる。

学校経営計画について、ICT教育に関しては、授業が分かりやすいなど評価はよいが、学力が伴う工夫をしてほしい。また、基本的な生活習慣の育成では、5分の休憩時間にも門を閉鎖することについて、給食がないので生徒には厳しい状況かもしれないが、慣れるまで先生方には頑張ってくださいしかなく、次の手立てとして校時の変更など考えてほしい。

最後に、いろいろな課題を准校長先生を中心に取り組んでおられるので、来年度もその成果を期待したい。